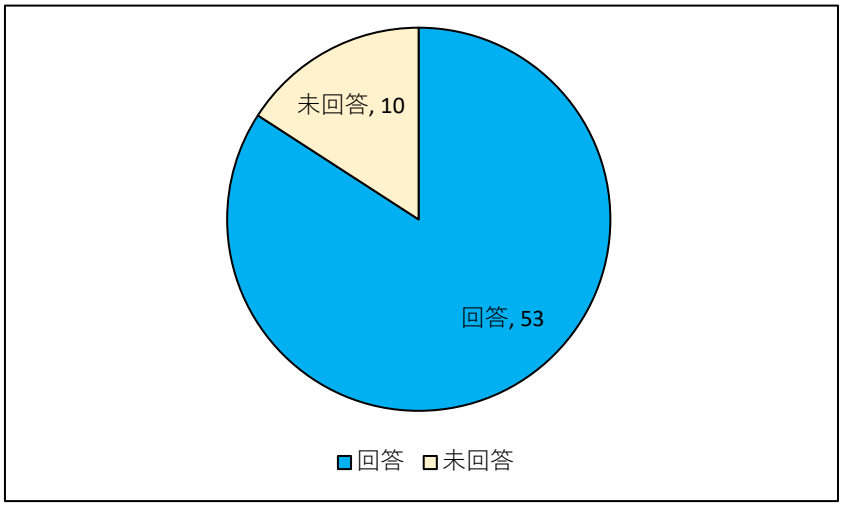
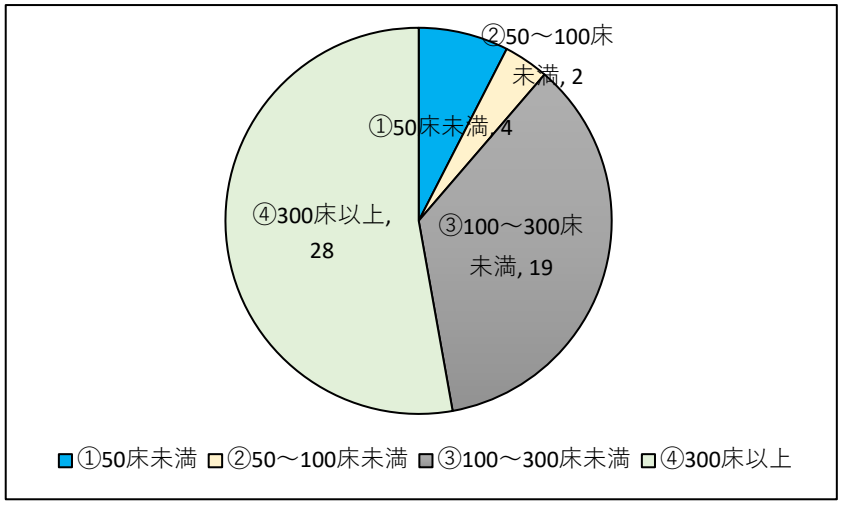
2025 年度　日本手術看護学会九州地区　分会研修

担当　宮崎

テーマ	熊本地震　被災から復興までの歩み～私たちはどう乗り越えたのか～							
目　的	1．組織の一員として自施設・自部署の災害対策に関する現状を把握する 2．災害経験者の実体験から、自施設・自部署の災害対策に関する問題点を抽出し、改善に繋げる機会とする							
目　標	1．手術室における災害の概要を理解する 2．手術室看護師として災害に備えた取り組みができる							
研修詳細	日　時	2025	年	6	月	28	日	土曜日
		時間	13:30	～	16:30			
	場　所	アステム　宮崎支店						
	研修題名	熊本地震　被災から復興までの歩み～私たちはどう乗り越えたのか～						
	参加人数	学会員	19	人		非学会員	44	人
研修結果		回答数	53	人		回答率	84.1%	

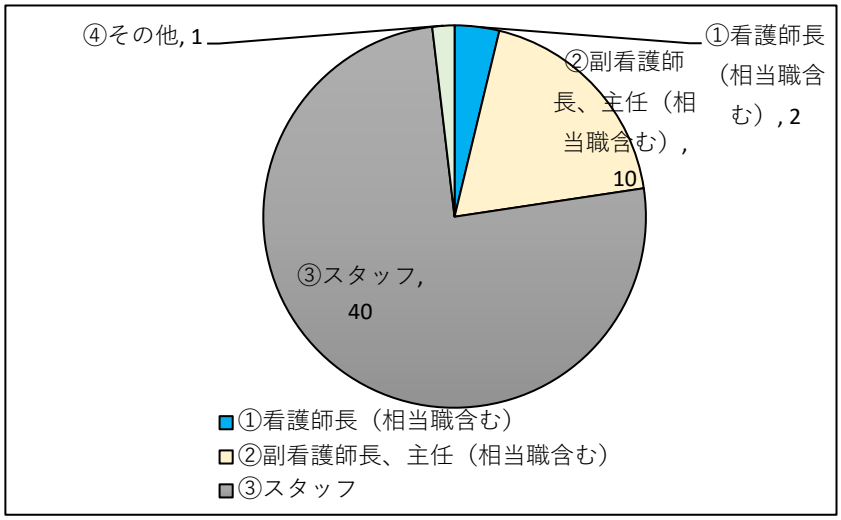


1-1　自施設の病床数　n=　53

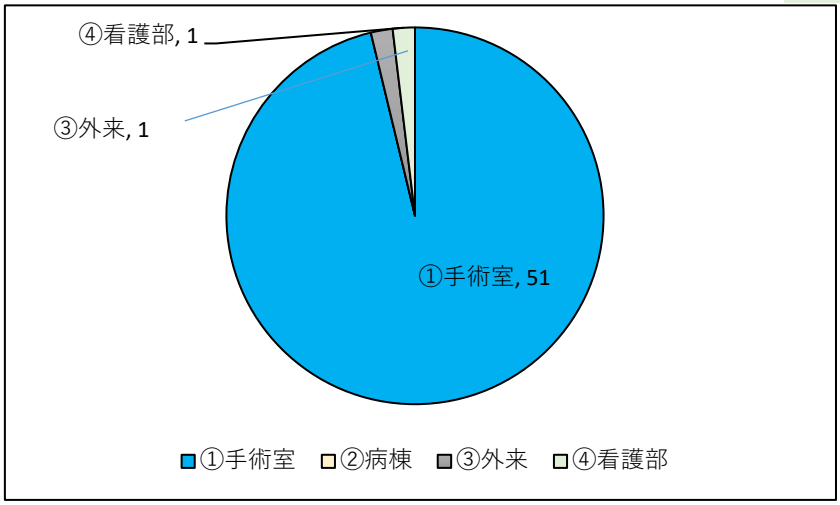


研修結果

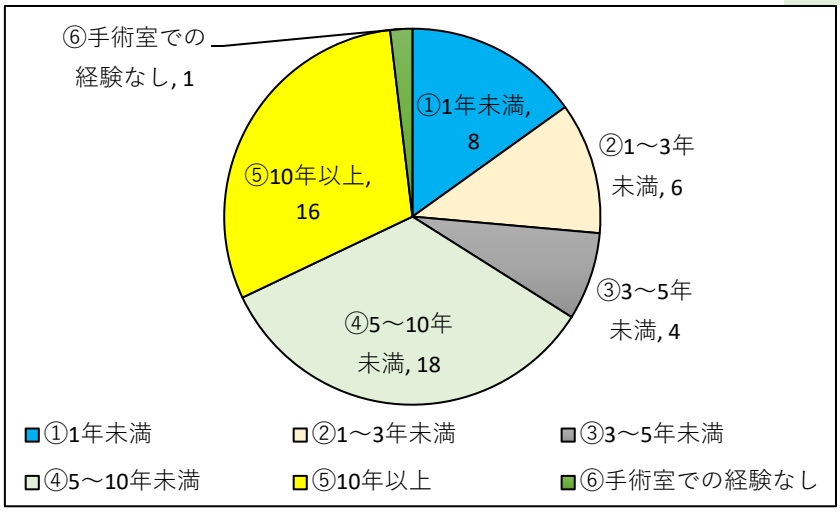
1-2　職位　　n=　53



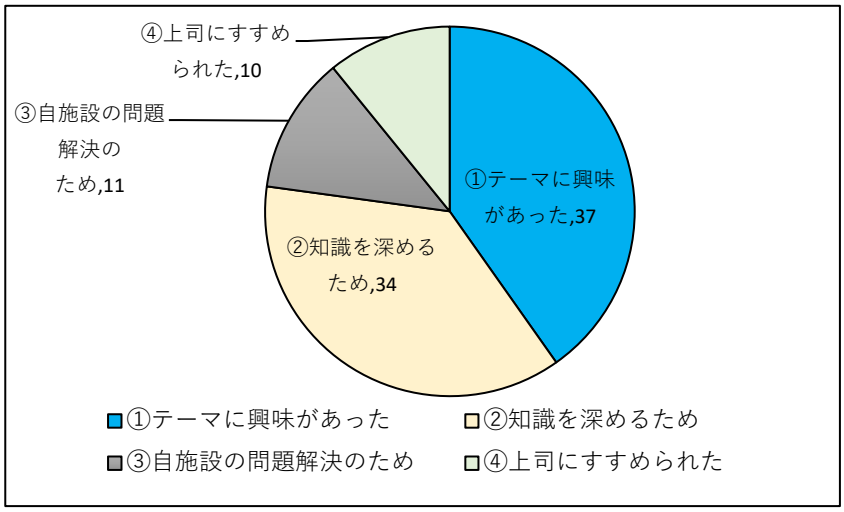
1-3　現在の所属部署　　n=　53



1-4　手術室所属年数　　n=　53



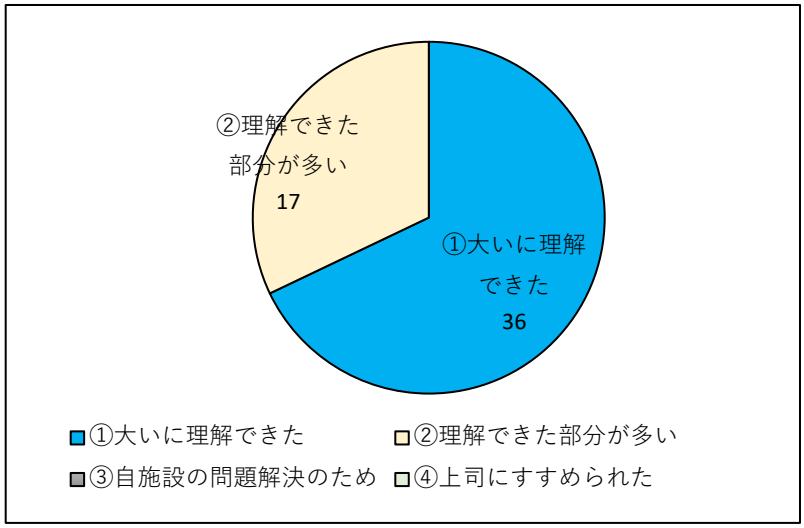
研修結果	2-1　研修の参加動機(複数回答可)　n= 92	



2-2　その他の動機

・自施設のマニュアルが不十分だと感じたため
・手術部にける災害時のシュミレーションを企画しており、その学習のため
・南海トラフ地震への備え
・被災者の実体験を聞きたかった
・災害への備えについて他施設との情報交換

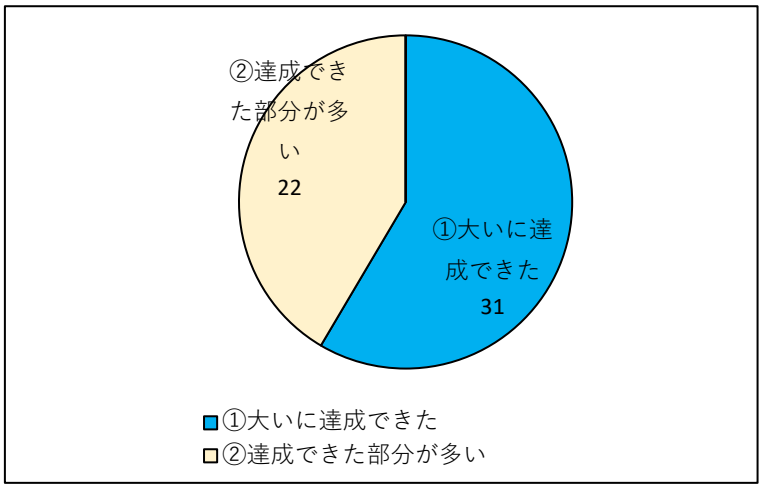
3-1　講義内容の理解度　n= 53



3-2　3-1で④⑤と回答された方の理由

回答者　0名

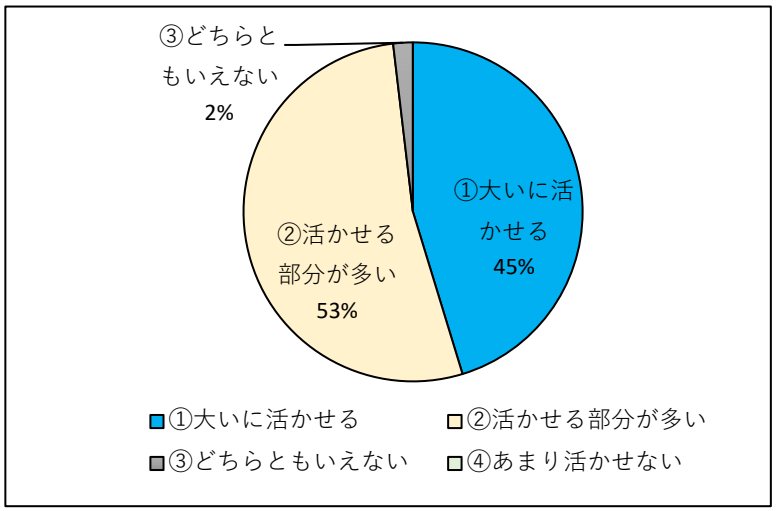
研修結果	4-1　研修受講者の研修目標の達成度　n= 53	



4-2　4-1で④⑤と回答された方の理由

回答者　0名

5-1　今回の研修が自施設で活かせそうか　n= 53



5-2　5-1で④⑤と回答された方の理由

回答者　0名

6　手術室での日常業務で困っていること

・新人教育、新人との関わり方
・人員の不足
・災害・防災訓練に対する活動
・夜間の手術器械の洗浄業務
・術前訪問の人材、時間の確保
・体位固定い関する実践、教育

研修結果	7　今後の研修についての要望 ・人材育成（新人教育等） ・医療安全 ・SSI ・感染症患者の手術時の対応 ・災害、防災対策 ・麻酔の知識
	8．研修に関する意見（フリー記載） ・手術室の災害について学べる機会は少ないので助かる ・グループワークで他施設の災害対策を知ることができた ・自施設の課題についてヒントを得る事ができた ・災害未経験なため、避難する為のストレッチャーやヘルメットなど、不足している ・病棟と違い、手術室は連絡方法や応援が不足しがちである。 ・スタッフの意識として災害に対しての意識不足もあるため、定期的な机上訓練を行っていきたい ・手術室が3階であり垂直移動が課題。水平移動を当院でも訓練に取り入れていきたい ・防災ホースの使い方を確認しようと思った ・アクションカードがないため、整備する必要があると実感した